
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士及び
精神保健福祉士養成教育への影響について

社会福祉士・精神保健福祉士養成課程への第3次緊急調査：集計結果
(速報値・暫定版)

令和2年9月29日

新型コロナ対応：実習中止に伴う実習代替プログラムに関する緊急オンライン集会



日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

＜調査の概要＞

本調査は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士及び精神保健福祉士養成教育への影響について、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校を対象に、webアンケートにて行ったものである。新型コロナウイルスの感染拡大下におけるソーシャルワーカー養成教育の現状を把握することを目的に、令和2年9月末までに3回実施した調査の結果である。

1. 調査目的

本調査は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士及び精神保健福祉士養成教育への影響について、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（以下、「ソ教連」という。）会員校の教育の現状を把握することを目的に実施した。

2. 先行研究

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うソーシャルワーカー（社会福祉士及び精神保健福祉士）養成教育への影響について、2020年8月8日現在、CiNiiにおいて「新型コロナウイルス」「ソーシャルワーカー」「社会福祉士」「精神保健福祉士」「養成教育」でキーワード検索したところ先行研究はない。

3. 調査の視点および方法

ソ教連会員校270校の社会福祉士および精神保健福祉士養成課程を研究の対象とし、新型コロナウイルス感染症の拡大による学生の学業面への負担やカリキュラム上の問題点等、新型コロナウイルス感染症にかかる文部科学省及び厚生労働省の通知や事務連絡の運用・解釈、実習の実施が不可能となった場合の代替措置の例等の検討及び通知や事務連絡では対応しきれない事項について、インターネット上の調査フォームに回答する方法により実施した。

4. 倫理的配慮

ソ教連会員校への調査をお願いするに際し、以下の事項を事前に告知をして研究を実施することについてソ教連業務執行理事会の承認を得て実施した。

- （1）新型コロナウイルスによる各会員校への影響の現況把握を目的として実施すること
- （2）調査への回答は任意であること
- （3）回答した内容は社会福祉士・精神保健福祉士養成校が今後の基礎資料として活用すること
- （4）調査結果は数量的に集計し学校の固有情報が特定されないよう配慮すること
- （5）調査結果を関係機関・団体等に情報提供、会員校への実習代替 教育プログラム等の実施例に関する情報提供、厚生労働省及び文部科学省等の関係機関への要望等に活用すること

4. 調査方法・対象・期間・回答状況

■調査方法：

第1次調査は令和2年4月22日から4月30日の間、第2次調査は令和2年6月23日～7月3日の間、第3次調査は令和2年9月14日から9月23日の間、本連盟会員校に対して担当者宛メールで依頼し、インターネット上に設置した回答フォームから回答を得た

■調査対象：日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校 270校
複数の課程を有する養成校は、課程数分の回答を依頼した

■調査期間：

第1次：令和2年4月22日～4月30日
第2次：令和2年6月23日～7月3日
第3次：令和2年9月14日～9月23日

■回答数および回答率：

第1次：222校370課程（社会福祉士228課程／精神保健福祉士142課程）回答率：82.5%
第2次：192校303課程（社会福祉士190課程／精神保健福祉士113課程）回答率：71.1%
第3次：173課程（社会福祉士112課程／精神保健福祉士61課程）回答率：集計中

■ 養成校種別

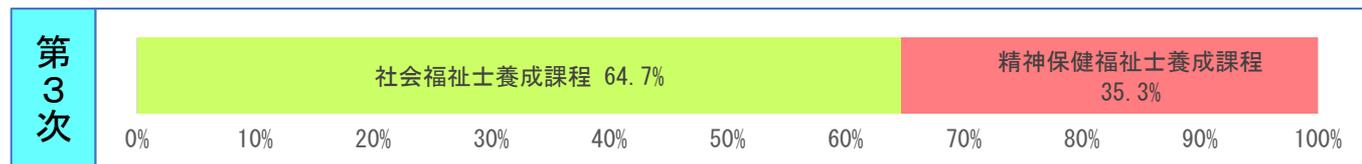
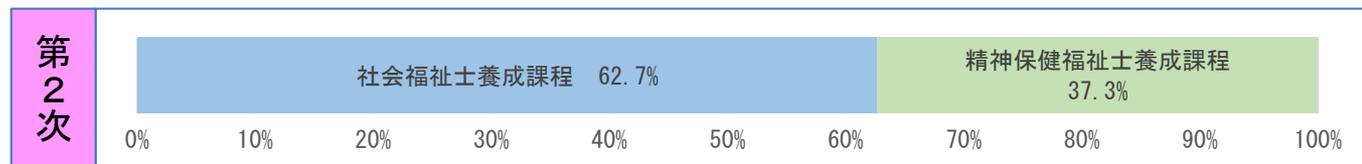


学校種別	度数	%
四年制大学	281	75.9%
短期大学	7	1.9%
専門学校	25	6.8%
一般養成施設	43	11.6%
短期養成施設	14	3.8%
合計	370	100.0%

学校種別	度数	%
4年制大学	247	81.5%
短期大学	7	2.3%
専門学校	15	5.0%
一般養成施設	28	9.2%
短期養成施設	6	2.0%
合計	303	100.0%

学校種別	度数	%
四年制大学	141	81.5%
短期大学	2	1.2%
専修学校	11	6.4%
一般養成施設	15	8.7%
短期養成施設	4	2.3%
合計	173	100.0%

■ 養成課程の別



課程種別	度数	%
社会福祉士	228	61.6%
精神保健福祉士	142	38.4%
合計	370	100.0%

種別	度数	%
社会福祉士	190	62.7%
精神保健福祉士	113	37.3%
合計	303	100.0%

種別	度数	%
社会福祉士	112	64.7%
精神保健福祉士	61	35.3%
合計	173	100.0%

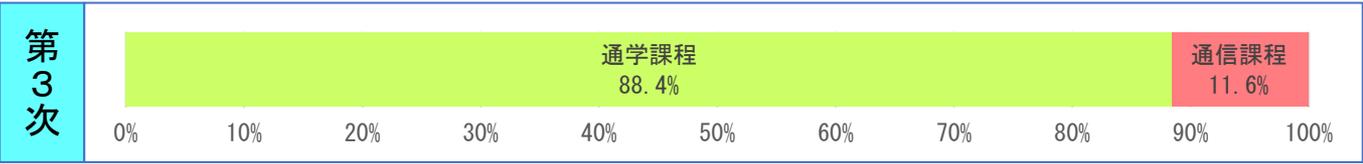
■ 通信・通学の別



通学・通信	度数	%
通学課程	306	82.7%
通信課程	64	17.3%
合計	370	100.0%

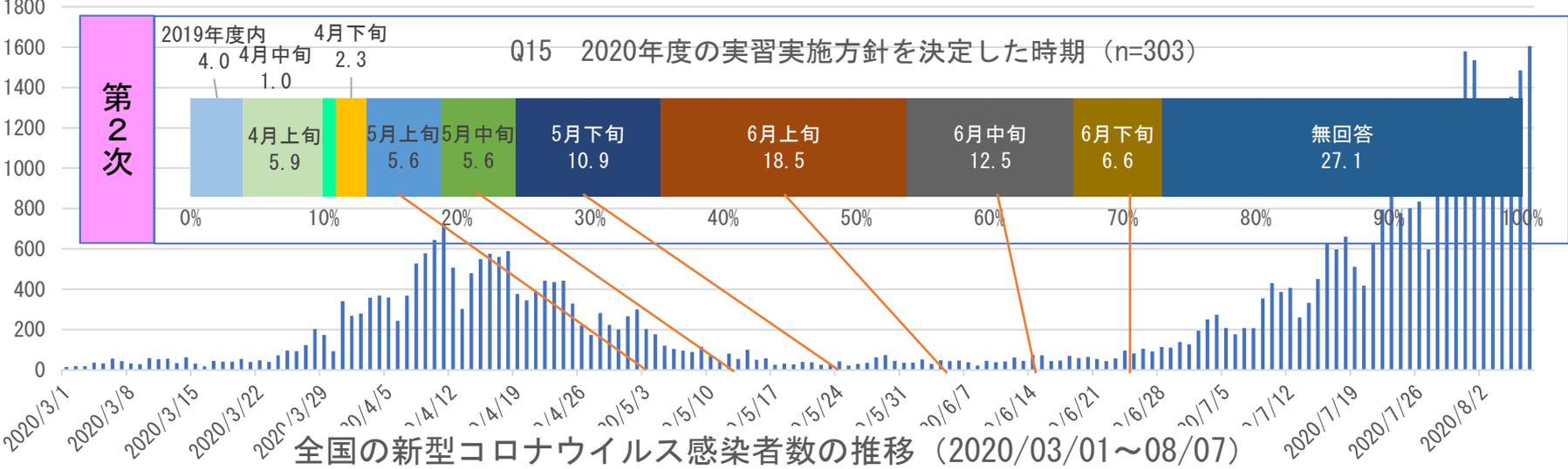


通信・通学	度数	%
通学課程	257	84.8%
通信課程	46	15.2%
合計	303	100.0%

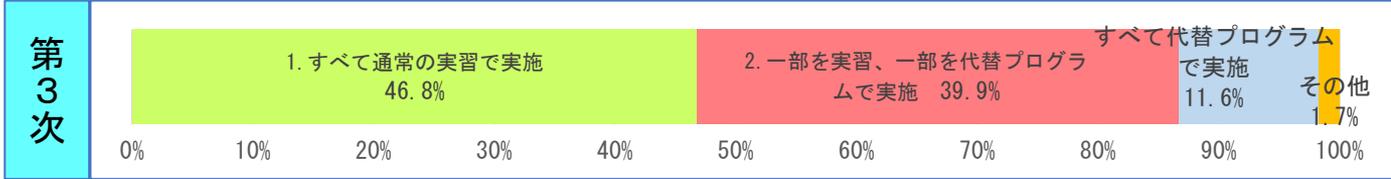


通信・通学	度数	%
通学課程	153	88.4%
通信課程	20	11.6%
合計	173	100.0%

■ 実習実施方針の内容（第2次のみ）

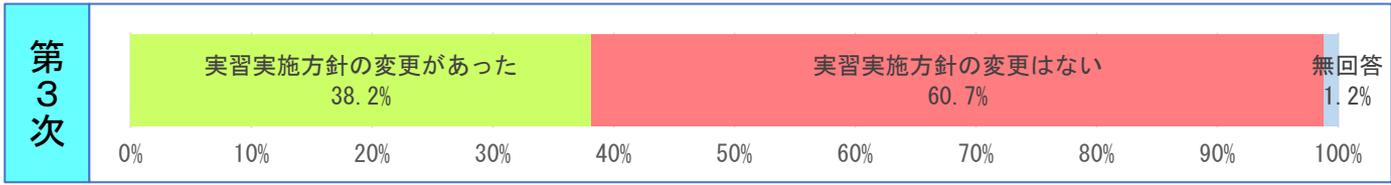


■ Q11：現時点の、課程の2020年度の実習科目の実施方針（予定を含む）



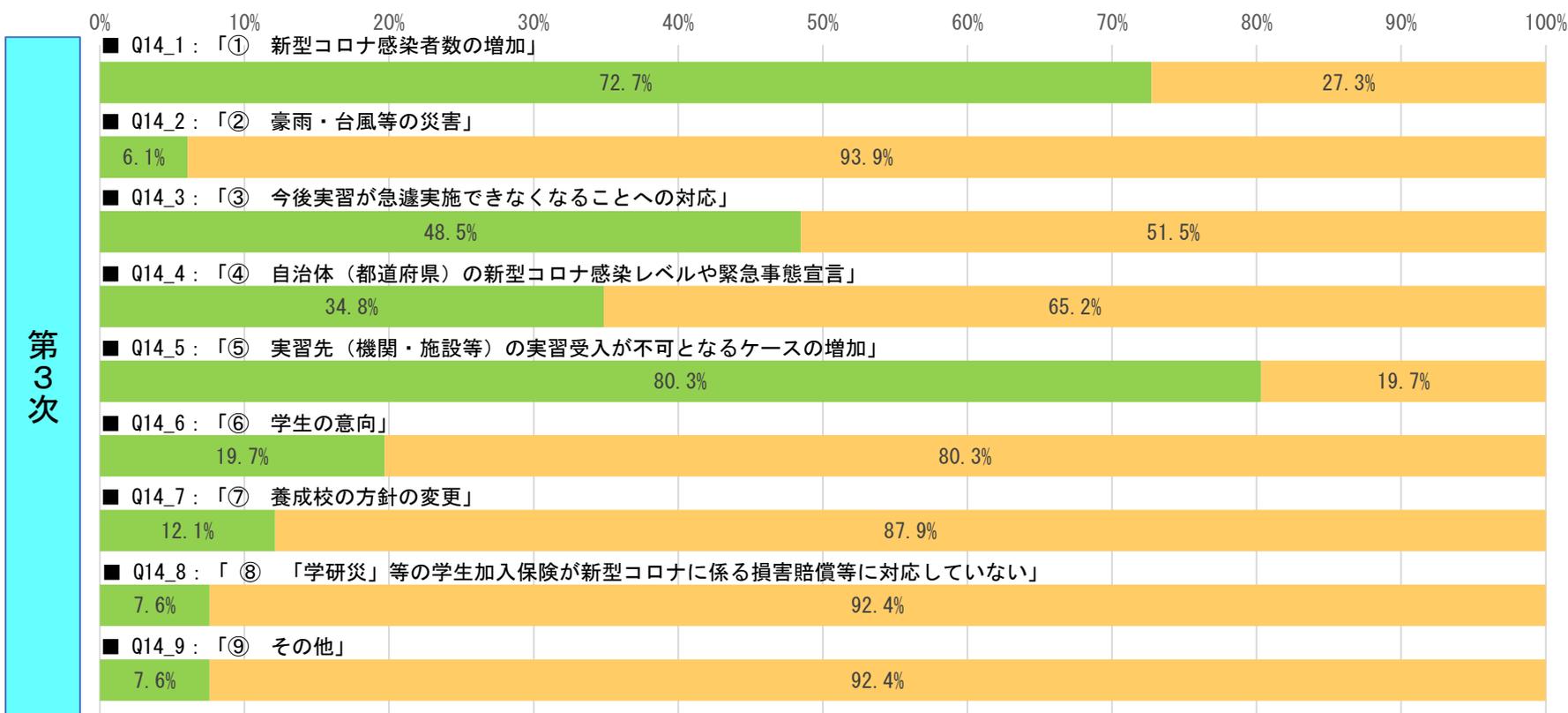
	度数	%
すべて通常の実習で実施	81	46.8%
一部を実習、一部を代替プログラムで実施	69	39.9%
すべて代替プログラムで実施	20	11.6%
その他	3	1.7%
合計	173	100.0%

■ Q13：7月以後、それ以前の実習実施方針から変更があったか[上のQのその他以外の回答者]



	度数	%
変更があった	66	38.2%
変更はない	105	60.7%
無回答	2	1.2%
合計	173	100.0%

Q14：実習実施方針の変更理由 [Q13で「実施方針の変更があった」課程のみ] (MA n=66)



Q15：現時点の実習代替プログラムの作成状況 [Q11で「代替プログラムを実施する」課程のみ] (n=89)

実施している	作成済みも未実施	作成中	着手する予定	計
64	2	18	5	89
71.9%	2.2%	20.2%	5.6%	100.0%

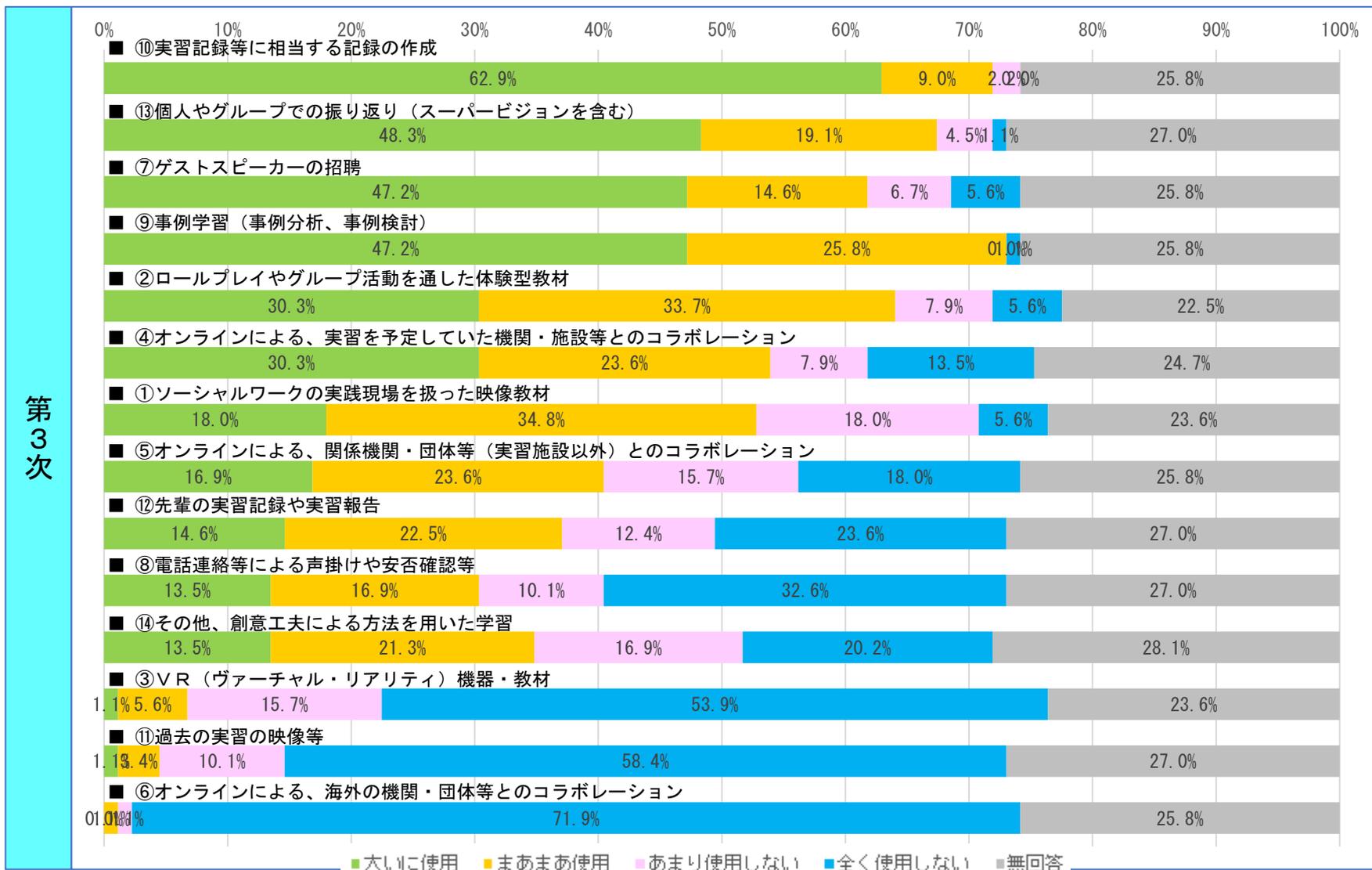


■ Q16 実習代替プログラムの内容[代替プログラムを実施する学校のみ] (n=89)

Q16：実習代替プログラムの内容		大いに使用	まあまあ使用	あまり使用しない	全く使用しない	無回答	合計
		度数	度数	度数	度数	度数	度数
Q16_1：①ソーシャルワークの実践現場を扱った映像教材	度数	16	31	16	5	21	89
	%	18.0%	34.8%	18.0%	5.6%	23.6%	100.0%
Q16_2：②ロールプレイやグループ活動を通じた体験型教材	度数	27	30	7	5	20	89
	%	30.3%	33.7%	7.9%	5.6%	22.5%	100.0%
Q16_3：③VR（ヴァーチャル・リアリティ）機器・教材	度数	1	5	14	48	21	89
	%	1.1%	5.6%	15.7%	53.9%	23.6%	100.0%
Q16_4：④オンラインによる、実習を予定していた機関・施設等とのコラボレーション	度数	27	21	7	12	22	89
	%	30.3%	23.6%	7.9%	13.5%	24.7%	100.0%
Q16_5：⑤オンラインによる、関係機関・団体等（実習施設以外）とのコラボレーション	度数	15	21	14	16	23	89
	%	16.9%	23.6%	15.7%	18.0%	25.8%	100.0%
Q16_6：⑥オンラインによる、海外の機関・団体等とのコラボレーション	度数	0	1	1	64	23	89
	%	0.0%	1.1%	1.1%	71.9%	25.8%	100.0%
Q16_7：⑦ゲストスピーカーの招聘	度数	42	13	6	5	23	89
	%	47.2%	14.6%	6.7%	5.6%	25.8%	100.0%
Q16_8：⑧電話連絡等による声掛けや安否確認等	度数	12	15	9	29	24	89
	%	13.5%	16.9%	10.1%	32.6%	27.0%	100.0%
Q16_9：⑨事例学習（事例分析、事例検討）	度数	42	23	0	1	23	89
	%	47.2%	25.8%	0.0%	1.1%	25.8%	100.0%
Q16_10：⑩実習記録等に相当する記録の作成	度数	56	8	2	0	23	89
	%	62.9%	9.0%	2.2%	0.0%	25.8%	100.0%
Q16_11：⑪過去の実習の映像等	度数	1	3	9	52	24	89
	%	1.1%	3.4%	10.1%	58.4%	27.0%	100.0%
Q16_12：⑫先輩の実習記録や実習報告	度数	13	20	11	21	24	89
	%	14.6%	22.5%	12.4%	23.6%	27.0%	100.0%
Q16_13：⑬個人やグループでの振り返り（スーパービジョンを含む）	度数	43	17	4	1	24	89
	%	48.3%	19.1%	4.5%	1.1%	27.0%	100.0%
Q16_14：⑭その他、創意工夫による方法を用いた学習	度数	12	19	15	18	25	89
	%	13.5%	21.3%	16.9%	20.2%	28.1%	100.0%

第3次

■ Q16 実習代替プログラムの内容[代替プログラムを実施する学校のみ] (n=89)



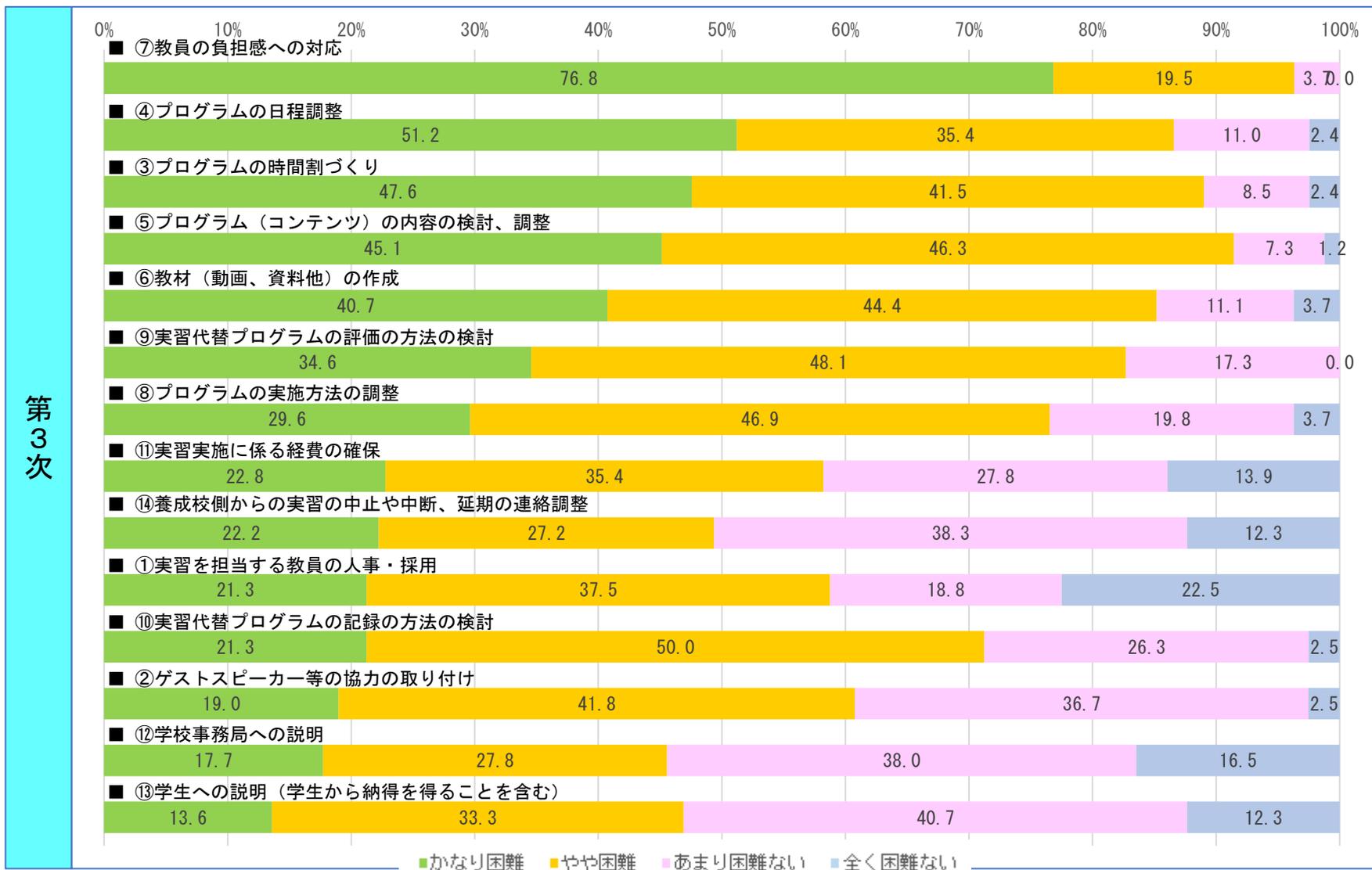
第3次

■Q17：実習代替プログラムの実施準備や作成の際の困難点 [代替プログラムを実施する学校のみ]

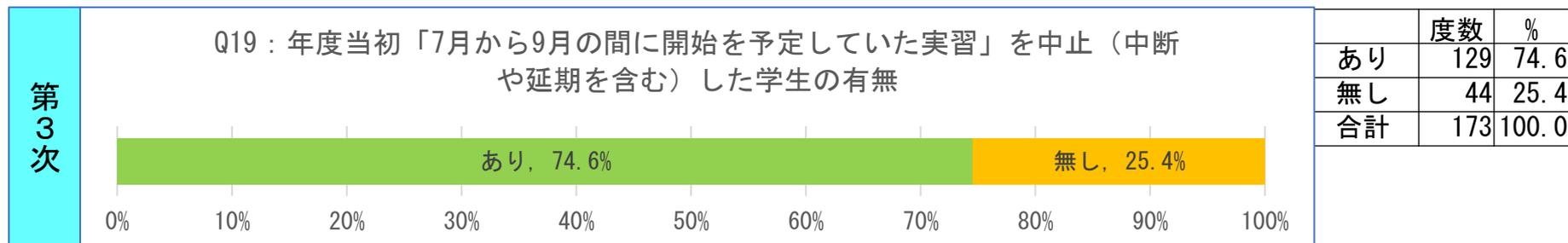
第3次

Q17：実習代替プログラムの実施準備や作成の際の困難点		かなり困難	やや困難	あまり困難 ない	全く困難な い	合計
Q17_1：①実習を担当する教員の人事・採用	度数	17	30	15	18	80
	%	21.3%	37.5%	18.8%	22.5%	100.0%
Q17_2：②ゲストスピーカー等の協力の取り付け	度数	15	33	29	2	79
	%	19.0%	41.8%	36.7%	2.5%	100.0%
Q17_3：③プログラムの時間割づくり	度数	39	34	7	2	82
	%	47.6%	41.5%	8.5%	2.4%	100.0%
Q17_4：④プログラムの日程調整	度数	42	29	9	2	82
	%	51.2%	35.4%	11.0%	2.4%	100.0%
Q17_5：⑤プログラム（コンテンツ）の内容の検討、調整	度数	37	38	6	1	82
	%	45.1%	46.3%	7.3%	1.2%	100.0%
Q17_6：実習代替プログラムの実施準備や作成の際の困難点「⑥教材（動画、資料他）の作成」	度数	33	36	9	3	81
	%	40.7%	44.4%	11.1%	3.7%	100.0%
Q17_7：⑦教員の負担感への対応	度数	63	16	3	0	82
	%	76.8%	19.5%	3.7%	0.0%	100.0%
Q17_8：⑧プログラムの実施方法の調整（オンライン／対面の選択、学生の通信環境など実施環境の確保等を含む）	度数	24	38	16	3	81
	%	29.6%	46.9%	19.8%	3.7%	100.0%
Q17_9：⑨実習代替プログラムの評価の方法の検討	度数	28	39	14	0	81
	%	34.6%	48.1%	17.3%	0.0%	100.0%
Q17_10：⑩実習代替プログラムの記録の方法の検討	度数	17	40	21	2	80
	%	21.3%	50.0%	26.3%	2.5%	100.0%
Q17_11：⑪実習実施に係る経費の確保（実習費の取り扱いを含む）	度数	18	28	22	11	79
	%	22.8%	35.4%	27.8%	13.9%	100.0%
Q17_12：⑫学校事務局への説明	度数	14	22	30	13	79
	%	17.7%	27.8%	38.0%	16.5%	100.0%
Q17_13：⑬学生への説明（学生から納得を得ることを含む）	度数	11	27	33	10	81
	%	13.6%	33.3%	40.7%	12.3%	100.0%
Q17_14：⑭養成校側からの実習の中止や中断、延期の連絡調整	度数	18	22	31	10	81
	%	22.2%	27.2%	38.3%	12.3%	100.0%

■Q17：実習代替プログラムの実施準備や作成の際の困難点 [代替プログラムを実施する学校のみ]



■ Q19：年度当初「7月から9月の間に開始を予定していた実習」を中止（中断や延期を含む）した学生の有無



■ Q22：実施を予定していた実習が中断・延期した学生への対応



■ Q23・Q24：7月から9月の間に開始を予定していた実習先数と、中止（中断や延期を含む）となった実習先数の割合

		⑦その他機関・施設 (n=26)	④社会福祉協議会 (n=374)	③相談系（福祉事務所、地域包括支援センターなど） (n=548)	②通所系（高齢者通所施設、障害者就労継続支援など） n=814	⑤医療機関（精神科以外） n=204	⑥医療機関（精神科） n=452	①入所系（特別養護老人ホーム、児童養護施設など） n=1052
中止・中断等	度数	7	154	234	354	100	234	587
	%	26.9%	41.2%	42.7%	43.5%	49.0%	51.8%	55.8%
実習可能	度数	19	220	314	460	104	218	465
	%	73.1%	58.8%	57.3%	56.5%	51.0%	48.2%	44.2%
計	度数	26	374	548	814	204	452	1052
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q23・Q24：7月から9月の間に開始を予定していた実習先数と、中止（中断や延期を含む）となった実習先数の割合

①入所系（特別養護老人ホーム、児童養護施設など） n=1052



⑥医療機関（精神科） n=452



⑤医療機関（精神科以外） n=204



②通所系（高齢者通所施設、障害者就労継続支援など） n=814



③相談系（福祉事務所、地域包括支援センターなど） n=548



④社会福祉協議会 n=374



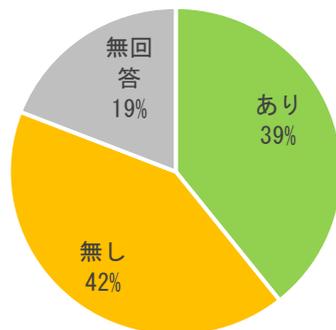
⑦その他機関・施設 n=26



■ Q25：加入している実習時の保険（特約含む）の内容

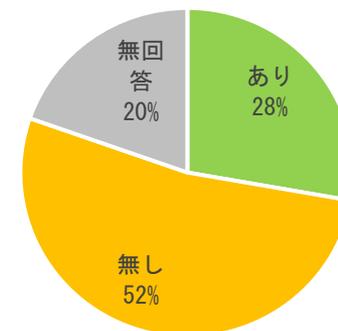
①実習生が実習中に、実習先で感染症に感染したときの補償

	度数	%
あり	68	39.3
無し	72	41.6
無回答	33	19.1
合計	173	100.0



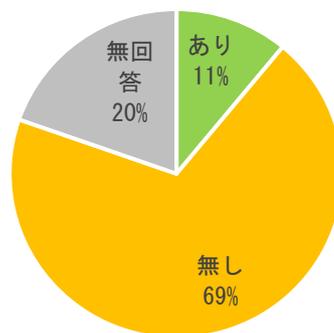
②実習生が実習中に、感染源になったとき、実習先への賠償への補償

	度数	%
あり	48	27.7
無し	91	52.6
無回答	34	19.7
合計	173	100.0



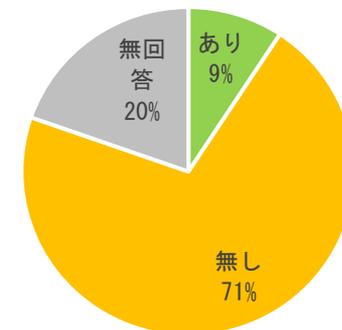
③新型コロナに特化した、実習生が実習中に実習先で感染したときの補償

	度数	%
あり	19	11.0
無し	120	69.4
無回答	34	19.7
合計	173	100.0



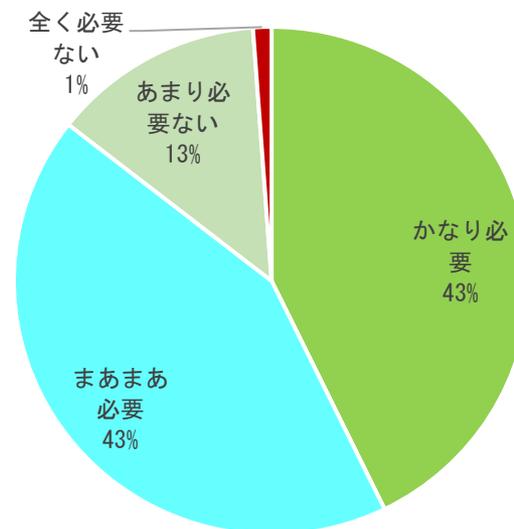
④新型コロナに特化した、実習生が実習中に感染源になったとき、実習先への賠償への補償

	度数	%
あり	16	9.2
無し	123	71.1
無回答	34	19.7
合計	173	100.0



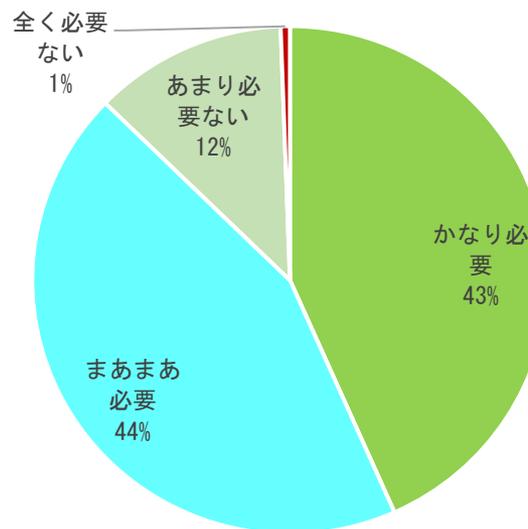
■ Q28：実習代替プログラムを行う際の学校間の協力、協働の必要性

	度数	%
かなり必要	74	42.8
まあまあ必要	74	42.8
あまり必要ない	23	13.3
全く必要ない	2	1.2
合計	173	100.0



■ Q29：実習代替プログラムを行う際の学校間での教材、教育方法の共用（融通し合うなど）の必要性

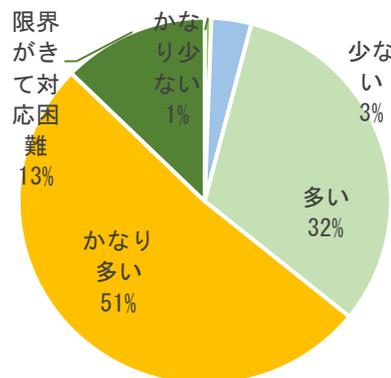
	度数	%
かなり必要	75	43.4
まあまあ必要	76	43.9
あまり必要ない	21	12.1
全く必要ない	1	0.6
合計	173	100.0



■ Q31：7月以降の教育・学内業務等業務量（前年同期比）

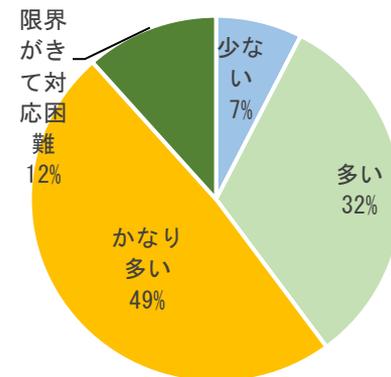
①実習以外の教育業務（遠隔授業等）

	度数	%
かなり少ない	1	0.6
少ない	6	3.5
多い	55	31.8
かなり多い	89	51.4
限界がきて対応困難	22	12.7
合計	173	100.0



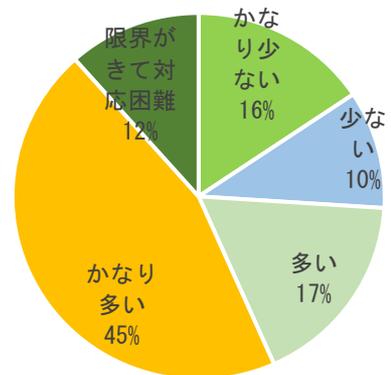
②実習対応業務

	度数	%
少ない	13	7.5
多い	56	32.4
かなり多い	84	48.6
限界がきて対応困難	20	11.6
合計	173	100.0



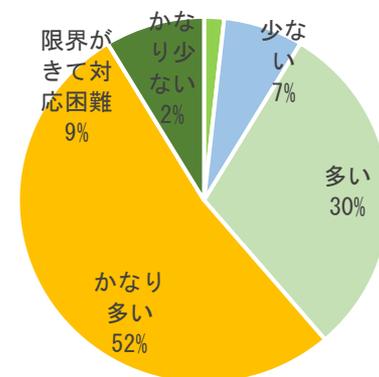
③実習代替対応業務

	度数	%
かなり少ない	27	15.6
少ない	18	10.4
多い	30	17.3
かなり多い	78	45.1
限界がきて対応困難	20	11.6
合計	173	100.0



④授業準備・評価

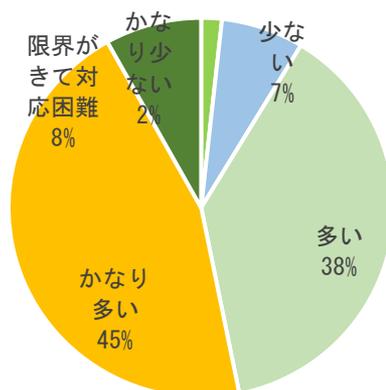
	度数	%
かなり少ない	3	1.7
少ない	12	6.9
多い	52	30.1
かなり多い	91	52.6
限界がきて対応困難	15	8.7
合計	173	100.0



■ Q31：7月以降の教育・学内業務等業務量（前年同期比）

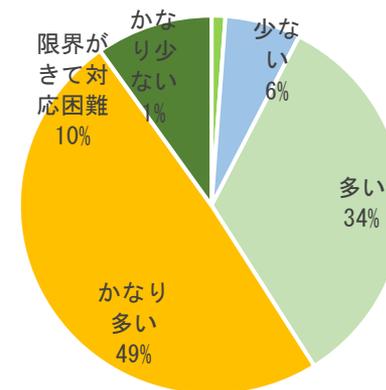
⑤学生対応業務

	度数	%
かなり少ない	3	1.7
少ない	12	6.9
多い	66	38.2
かなり多い	78	45.1
限界がきて対応困難	14	8.1
合計	173	100.0



⑥学内業務

	度数	%
かなり少ない	2	1.2
少ない	11	6.4
多い	58	33.5
かなり多い	85	49.1
限界がきて対応困難	17	9.8
合計	173	100.0



■ Q33：7月以降、新型コロナ対応及び在宅勤務における時間外・深夜・休日勤務の量

	度数	%
かなり増えた	84	48.6
やや増えた	60	34.7
変わらない	27	15.6
やや減った	2	1.2
合計	173	100.0

